

令和 4 年度 墨田区立錦糸中学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 15 日

学 校 目 標	<p>人権尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の教育目標を掲げる。</p> <p>○基礎学力を身に付け、自ら考える生徒を育てる。【知】</p> <p>○情操を豊かにし、他を思いやる生徒を育てる。【徳】</p> <p>○心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒を育てる。【体】</p>
目指す学校像	<p>「伝統ある名門校としての誇りと進取の気風に満ちた品格のある学校」</p> <p>(1) わかる喜びとできる楽しさを実感できる学校</p> <p>(2) 教師と生徒が強い信頼の絆で結ばれ、保護者に信頼される学校</p> <p>(3) 地域とともに歩み地域が誇れる学校</p>
目指す子供像	<p>「未来への夢や希望をもち、こころざし高く歩み続ける生徒」</p> <p>(1) 基礎学力を身に付け、自ら考える生徒</p> <p>(2) 情操を豊かにし、他を思いやる生徒</p> <p>(3) 心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒</p>
目指す教師像	<p>「明るく元気でハートがあって夢を語れる錦糸の教師」</p> <p>(1) 教科指導や直面する教育課題にも対応できる高い専門性のある教師</p> <p>(2) 錦糸中学校の教師である誇りと品格をもち、組織的に協働する教師</p> <p>(3) 教育公務員として職責を自覚し、サービスの厳正を図ることができる教師</p>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	A	生徒の振り返りシートや授業評価のアンケートの分析を行い、教師の授業力UPを図る。また、タブレット端末を効果的に活用し、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	B	「特別支援教育推進委員会」を中心に、生徒理解に努め、支援の必要な生徒に適切な支援ができる実践的な研修を実施し、生徒たちを支援していく。また、不登校の未然防止や早期対応を目的としたスモールステップルームの充実を図り、教室復帰を目指す。	B	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	A	学校支援ネットワークの協力を得ながら、「錦中ハローワーク」を充実させるとともに、Inspire High の教材を活用することで、子供の将来の自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動に取り組んでいく。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	A	東京都情報教育教育研究校、墨田区教育委員会研究協力校の 2 年間の取組をさらに発展させるために次年度は、パナソニック教育財団の研究助成校として、ICT 環境の活用支援や授業改善をさらに充実させる。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<p>○研究発表会に見られるように、錦糸中の ICT 活用は素晴らしい。さらに高みを目指してほしい。</p> <p>○多様な対応が必要で、先生方の負担ばかりが大きくなっていないか心配である。</p>			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。	B	年 2 回実施する墨田区教育心理検査(アイ・チェック)と年 6 回実施する「生活アンケート調査」等を活用し、早期発見・対応に努める。	A	A

様式 4

導 等	学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。	A	2人担任制を継続することで、日々の生徒の状況を今まで以上に把握し、基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導していく。	A	A
	学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	B	いろいろな場面を想定した訓練を年間通して、計画的に実施することと身の安全の守り方を経験させることで、危機回避能力の育成を図る。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	○全国的ないじめ調査によれば、錦糸中は発生の割合が全国と比べ低い。教員と生徒の距離感がよいと思われる。 ○校則等については、生徒自身が主体的に考えられるようになることが大切である。			
項 目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学 校 の 管 理 運 営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	B	副校長のもと、主幹教諭を中心に教職員全員で学校経営方針に従い、教育活動・学校運営を行うための提案・改善案等を積極的かつ組織的に行う。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	A	年2回の I-check の結果や学校評価の結果をもとに専門家から指導を受け、生徒の実態を把握しながら、毎月の生活目標や学習目標を設定し、教育活動の工夫を図っていく。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	B	適切な教育活動が行えるよう、改修工事等をお願いしつつ、ICT機器の設備やアクティブラーニング室等の環境を有効活用することで、生徒の学習意欲を高め、学力向上に繋げていく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	○教員のケアが厚いと考えられる。今後も複数担任などを継続していくとよい。 ○学校としての取組がはっきりとしていてよい。教員がタブレットの活用について研修してがんばっている様子が見える。			

項 目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家 庭 ・ 地 域 連 携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	A	学校だより、学年だよりをスクリーンやCOCOOを活用して、定期的に発行し、教育方針や日常の教育活動の様子などを伝えていく。また、生徒会が中心となって、noteによる学校の様子を生徒目線で伝えていく。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	B	対面での活動を増やししながら、活動の機会を増やし、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っていく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	○地域人材を活用した3年生の面接練習会や生徒会と青少年育成委員会の懇談会は、ぜひ継続してもらいたい。 ○学校ホームページのさらなる充実を図ってほしい。			

2 令和4年度学校評価のまとめ

○2年間の東京都情報教育研究校の取組は、近隣にも大変良い刺激を与えていると聞いている。研究発表会では、全国各地の先生方が参観されていた。皆さんの期待に応えるためにも来年度も研究の継続を期待している。

○生徒のアンケートや学校評価から、教員が「生徒の意見を聞き、悩みに寄り添ったり、受け止めたりなど対応している」ことが読み取れる。今後も複数担任制を継続していくとよい。

○保護者・地域の方々と次年度は、対面でコミュニケーションをとる場を多く設定し、良い関係を築いていきたい。

よろしくお願いたします。

以上の通り報告いたします。

墨田区立錦糸中学校 校長 和田 浩二 公印